

「日々の理科」(第 3004 号) 2022, 10, 28

「秋の東北鉄道旅行(9)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所 研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

弘前にはかなり以前に一度来たことがある。今回は次の秋田行きの特急の発車まで小一時間しかなく、本格的な観光はととてもできない。



幸い、駅構内の観光案内所の前に「観光用貸自転車」の「のぼり」を見つけて、速攻で申し込んだ。観光地で自転車があると、格段に行動範囲が広がるからだ。自転車貸出カウンターで手続きを済ませ、1時間でどこまで行けるか聞くと、「迷わず弘前城に行ってください」という。弘前城も初めてではないのだが、アドバイス通り、そこに行くことにした。



自転車は「普通自転車」と「電動アシスト」があるらしいが、残念ながら「電動アシスト」は出払っていた。普段文京区では「電動アシスト」しか乗っていないので、こういう自転車は久しぶりだ。



弘前市内はほぼ起伏がないと思っていたが、そうでもなかった。車や徒歩ではわからないが、自転車で走るとほんのわずかな起伏も感じる。弘前城までは自転車で10分ちょっとだが、結構疲れた。



実に明快な道路標識だ。実際に市内からも岩木山はよく見える。桜のマークが付してある通り、弘前城は桜の名所でもある。



時間がなく、地図を見る余裕もなかったので、貸自転車のカウンターの方に教えてもらった通りに進むと、迷わずに弘前城公園に着けた。ここからは厳密には自転車は入れないのだが、「無料区画は入って大丈夫です」という説明だったので、自転車に乗ったまま、ゆっくり進入することにした。中に入ると、弘前市民も普通に自転車で通行していたので、安心できた。